資 料 2

「八戸市体育館の建て替えに関する基本計画」の改定案について

1 経緯

昭和 38 年竣工の老朽化した八戸市体育館の建て替えについて、令和８年度整備着手を目指し事業を進めてきたが、近年の全国的に建設費が高騰していることなどから、市の財政負担を十分に考慮した上で事業を進めるべく、総事業費の圧縮及び国庫補助金の最大活用により建設費高騰に対応した「新整備プラン案」を本年７月に公表した。

2 目的

新整備プラン案で事業を進めていくにあたり、フロアプラン・規模等をまとめた「八戸市体育館の建て替えに関する基本計画」（以下「基本計画」という。）を改定し、新整備プラン案との整合性を図る。

3 改定のスケジュール

令和８年 11 月下旬～12 月下旬	基本方針（改定案）及び基本計画（改定案）に対するパブリックコメント実施
令和９年 １月中旬	第４回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会
令和９年 １月下旬	基本方針・基本計画の改定

４ 「八戸市体育館の建て替えに関する基本計画」（改定案）について＜改定箇所抜粋＞

新フロアプランの考え方

床面積の精査による建設費圧縮など財政健全性を維持しつつ、必要な機能の整理と市民ニーズに応える施設の実現に向けたフロアプラン案を以下のとおり示す。

新フロアプランでは、キッズゾーン・コミュニティゾーン・カフェ等を整備することで集客機能を強化し、中心市街地から徒歩圏内という立地を活かして地域経済の活性化や若い世代の利用を促進することで中心市街地の活性化を図る。

・主な変更点

項目	旧計画	新計画
延床面積	約18,000 ㎡	約11,000 ㎡
アリーナ	メイン：バスケットコート３面分 サ　ブ：バスケットコート１面分 観客席：2,000 席程度	メイン：バスケットコート２面分 サ　ブ：バスケットコート１面分 観客席：1,600 席程度
武道場	柔・剣道場ともに試合場２面分	新体育館への整備は見合わせ、 現武道館の改修により対応
プール	８レーン25m公認プール	新体育館への整備は見合わせ、 長根公園内に整備することを想定
トレーニングルーム	現状と同程度の規模	
その他諸室	事務室、会議室、更衣室、シャワー、トイレ等	
新たな集客機能	―	キッズゾーン、 コミュニティゾーン、カフェ等

＜改定のポイント＞

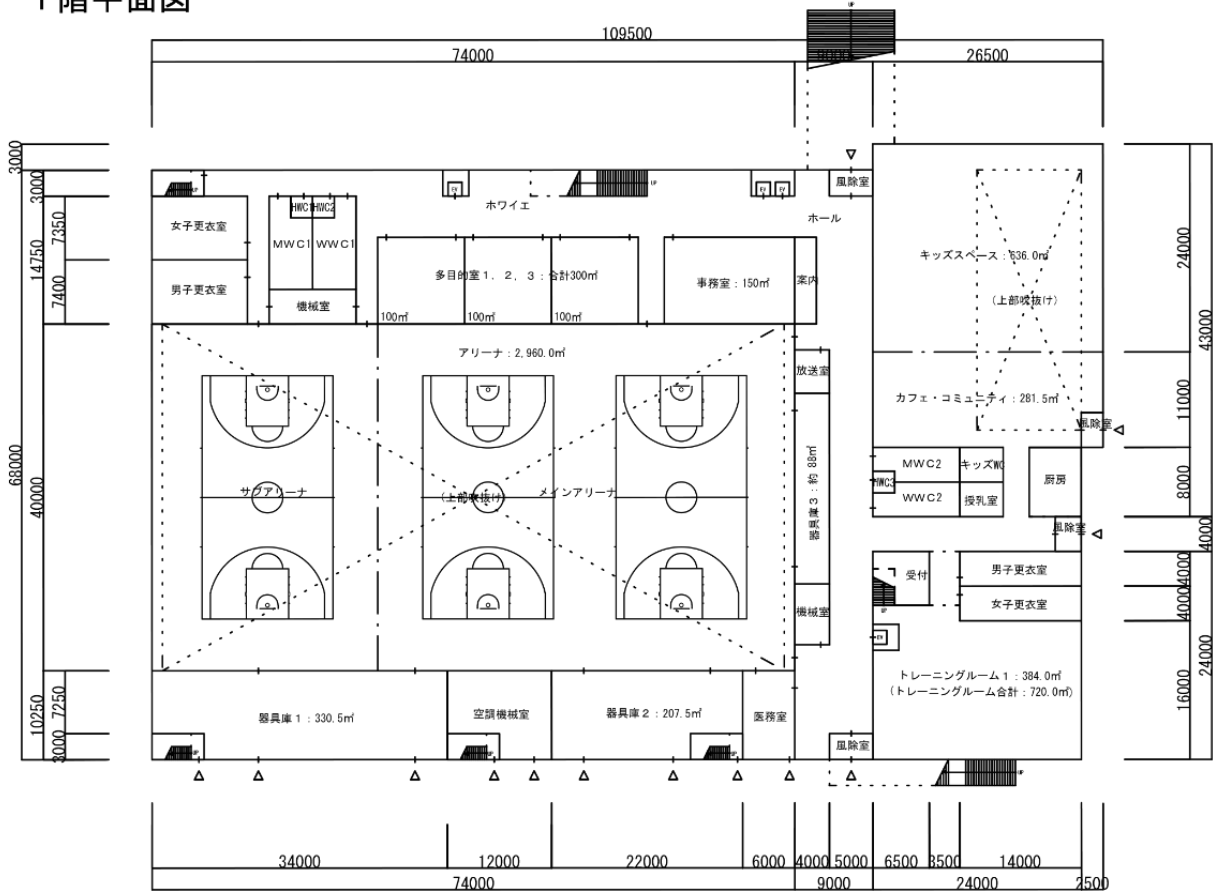
・必要機能及び床面積の精査により総事業費を圧縮するため、各競技団体に対し説明を行った上で、アリーナについてバスケットコートを１面分縮小するとともに、プール及び武道場の新体育館への整備を見合わせ、延床面積を約 7,000 ㎡縮小する。

・市の財政負担を十分の考慮した上で事業を進めるべく、国庫補助金の最大活用を図るため、従来から活用を想定していた国土交通省の社会資本整備総合交付金に加え、新たに内閣府の地域未来交付金及び防衛省の民生安定施設設置助成事業の活用を想定する。

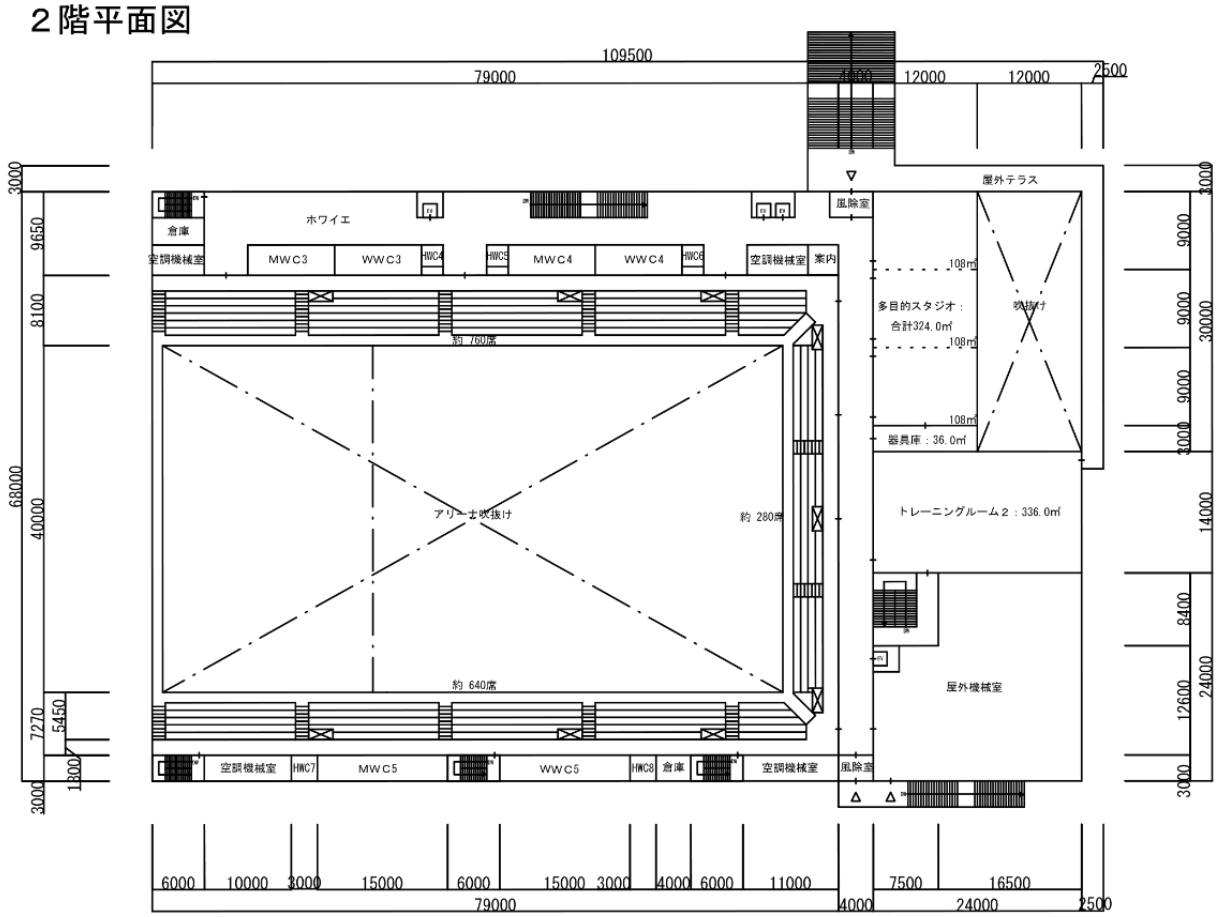
・特に地域未来交付金は、地域の特性を活かした独自の地方創生や経済活性化を支援する交付金であり、キッズゾーン、コミュニティゾーン、カフェ等とこれらに付随する園路や広場、駐車場等を整備することで集客機能を強化し、中心市街地から徒歩圏内という立地を活かして地域経済の活性化に寄与する体育館を目指す。

フロアプラン案

１階平面図

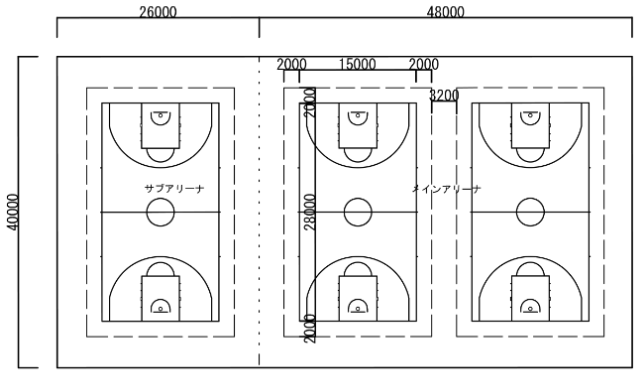


２階平面図

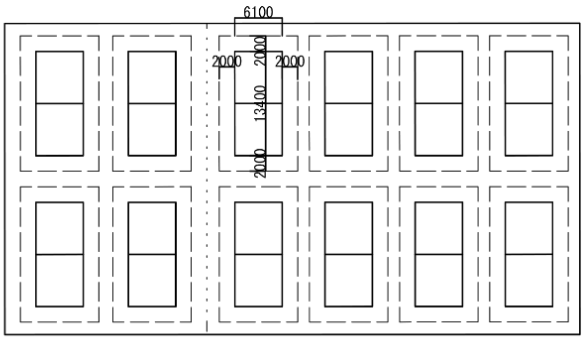


レイアウト例

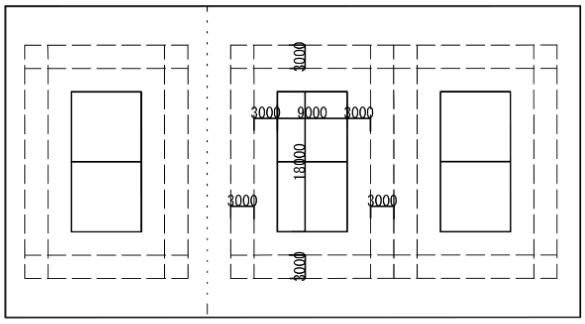
バスケットボール
メイン２面・サブ１面



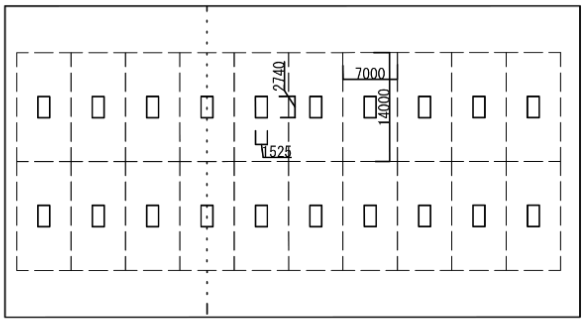
バドミントン
メイン２面・サブ４面



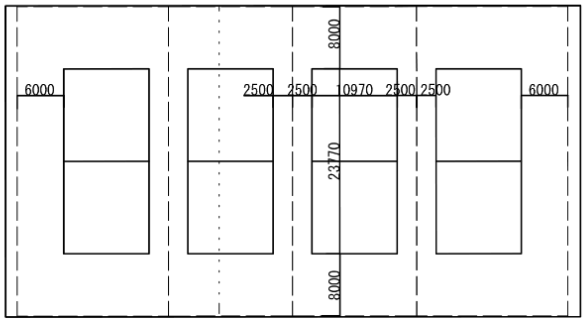
バレーボール
メイン２面・サブ１面



卓球
メイン・サブ一体利用20面



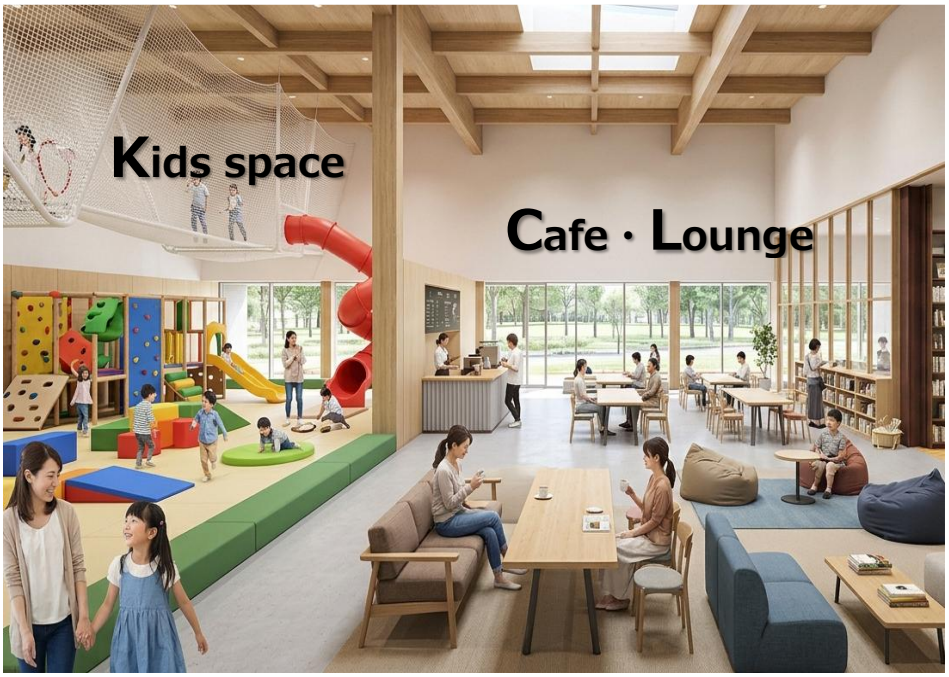
テニス・ソフトテニス
メイン・サブ一体利用４面



配置案



キッズゾーン・コミュニティゾーン・カフェ等のイメージ



事業スケジュール案

令和　９年(2027 年)	１月～２月	実施方針(案)・要求水準書(案)の公表
	４月	実施方針・要求水準書(改定案)の公表
	６月～12 月	公募期間
令和 10 年(2028 年)	１月～３月	事業者選定・基本協定締結
	６月～	設計・解体・建設
令和 15 年(2033 年)		供用開始